

## 防爆：鈴木健二氏著作集



- **書名：防爆電気・計装ガイド - プラントエンジニアのための設計マニュアル -**
- 価格：2,300 円
- 出版社名：オーム社
- 出版年月日：1991 年 6 月 30 日
- ISBN：4274033422
- 内容：石油・石油化学プラントはもとより、可燃性ガス・蒸気を取扱うプロセスにおいて、防爆に関する用語、防爆の概念、爆発の誘発要因、設計・施行の留意点を中心に、爆発性雰囲気さらされる電気・計装設備の基本概念、設計ポイント、国際化対応まですべてを詳述。



- **書名：設計・積算シリーズ5「防爆」電気・計装設備の計画・設計・施行 国際化対応に備えて**
- 価格：2,200 円
- 出版社名：社団法人日本電設工業協会・オーム社
- 出版年月日：1993 年 10 月 10 日
- 内容：国際的に急激に変化してきた防爆方式の考え方を解説。頑丈な構造だけの防爆ではなく、設置区域の危険度とそれに対応した防爆電気・計装設備、合理的・経済的な防爆システムの構築を詳述。



- **書名：安全確保と「防爆」の役割 - 国際標準をふまえて -**
- 出版社名：IEC 防爆研究会 (Tel:045-241-2560、Fax:045-253-3344、〒232-0008 横浜市南区庚台 93-12、以下同じ)
- 出版年月日：2001 年 11 月 25 日
- 内容：国際標準の場では開発初期における坑内爆発対応の考え方と一線を画し、プラント・装置の危険度の実態に基づく合理的な安全確保を指向する「“防爆”の役割とは」という課題を扱い、コスト低減指向に留意しながら、欧米主要国における経験あるいは実験上の成果のほか、電気技術の急速な進展さらには関連設備を含めたプラント・装置の信頼度向上がされる国際標準の動きについて国内の実態との対比を交えて解説。



- **書名：グローバル化時代のプラント・設置における防爆電気・計装技術の役割**
- 出版社名：IEC 防爆研究会
- 出版年月日：1995 年 10 月 1 日
- 内容：防爆電気・計装技術の日本における事態に警鐘を鳴らし、「グローバル化」時代での防爆電気・計装技術の役割りとは何かについて、「国際標準」における技術思想の潮流をもとに「あるべき役割」の解明。



- **書名：グローバル化時代におけるグローバルスタンダードの防爆電気・計装設備**
- 出版社名：IEC 防爆研究会
- 出版年月日：1999 年 9 月 10 日
- 内容：普遍的概念を構築するための必要条件の一つであるグローバルスタンダードの潮流を踏まえ、防爆の基本的概念や情報の共有化にあたる用語の重要性を中心に防爆電気・計装設備について解説。

